

ほっけん

340 仕返し



タマスダレ咲く庭先に受けとりし
残暑見舞のハガキ数通
星空へ旅立ちし愛犬^{ママ}思い馳す
縁に並びて眺めた夕陽
微と吹く野辺の涼風頬をなで
秋の野遊び萩を手折りて
萩の花咲きたる野辺にひぐらしの
鳴く夕暮れや萩揺らす風
すがた良く大き蚊一尾迷ひ来し
ゼレンスキー氏の行く道憶ふ
独りなる夕べに萩の匂い立つ
白萩母の裾模様なり
白無垢の大輪の花白芙蓉
慈しむるや広島^{ママ}の悲を

川崎健一 山下海征 上南紀子 栢山重子 実吉安仁 井元かず子 穂園芳江

大崎短歌会

兼題『萩・自由』

薩摩郷句

兼題『難し』

霧島や晩夏迎へし萩群れの
山も崩しぬあ線状降水
今日一日私の時間ゆつたりと
散歩の野路に萩の花咲く
馬場みさ
本後淑子
農業^さく継^ちだや 難^{むづ}しなつた 嫁女^{よめじよも}娶^むれ
(唱) 良^よか息子^こじゃつとに 娘^{むすめ}は目^めが無^なし
北村虎王
凄^わぜ被^ひ害^{がい}い 難^{むづ}し復興^{ふっく}こ 将来^さか見え^えじ
(唱) どげんすかいち 国^{くに}も手^てを焼^やつ
上村牛歩
年金^{ねんきん}じゃ 暮^くらしや難^{むづ}し 物価^{ぶつが}高^{たか}
(唱) 飯^{めし}とみそ汁^{じゆ} そいも厳^{きび}すなつ
上窪小絵

飲^のんの座^ざで 難^{むづ}し話^{はな}しゆ またし出^でつ
(唱) 聞^きこごちや無^な態^{たい}で そろいと逃^にげつ
西ノ園ひらり
難^{むづ}し病^{びやう} あつちやこつちやん 神^かみ縫^ぬつ
(唱) ご先祖^{さんぞ}様^{さま}ん 祟^{たた}いじゃろかい
諸木小春
内^{うち}心^{こころ}は良^よが 難^{むづ}し語^ごいで 寄^よい近^ちけじ
(唱) 大^{だい}学^{がく}教^{きやう}授^{じゆ}ん 話^わのこちやつ
藤元鬼瓦
足^{あし}腰^{こし}が 難^{むづ}しなつた 東^{とう}京^{きやう}行^ゆつ
(唱) 若^わけ心^{こころ}算^{さん}いじやが 年^{とし}齢^{れい}しな適^{かな}わん
二見愚染満
今^{いま}んこちや 難^{むづ}し事^{こと}が 多^{おほ}けすぎつ
(唱) じゃつどじゃつどち 大^{だい}世^{せい}間^{けん}も言^いつ
長重リリー
財^{さい}布^ふん籤^{くし} 夢^むは億^{おく}じやが 難^{むづ}しゆし
(唱) 世^せ界^{かい}一^{いつ}周^{しゅう}ん 夢^むどん見^みちよつ
下橋一斗薙
焼^{しょう}酎^{ちゆう}食^{じき}れ爺^や 難^{むづ}し顔^{がん}い 最^{しめ}後^ごいしつ
(唱) も一杯^{いっぱい}思^{おも}もが 女^め房^{ぼう}け睨^{にら}まえつ
佐藤ぼつけちゃん
難^{むづ}し世^よ 爺^や婆^ばあ増^いつ 子^こあ居^おらじ
(唱) 学^が校^{こう}は全^{ぜん}部^ぶ 老^{らう}人^{じん}ホーム
遠矢耐多
認^{にん}知^ち症^{しやう}か 難^{むづ}しも無^な字^じを 書^かかならじ
(唱) 書^かつ気^きがあれば 心^{こころ}配^{はい}あ無^なかろじ
満石うらら